

# 東由利村報

No. 50 35・12・15  
発行所 秋田県東由利村役場  
印刷所 株式会社 本間印刷所

紙面案内

2面 米売渡し6万俵越す  
祝沢分校にテレビ  
今冬のバス運行

3面 高橋氏備品を贈る  
ひろば・農地相談室

4面 公民館図書目録  
正月談義

本村の葉たばこ収納は由利郡内のトップをきつて十二月一日から三日間老方小学校で行われた収納成績は総収量一七万八、三〇〇キロで売上高三一六万一、六〇〇円、今年の耕作面積は八・五ヘクタール(耕作者八九人)

## 今年の総収入三一六万円

### 葉たばこ耕作・年々減少の一途

十月一日行われた国勢調査による人口概数がすでに公表されたがこれによると本村の人口総数は九、〇八一人、昭和三十年同調査結果より六六七人減少している事

**本村の人口九、〇八一人**

国勢調査結果まとめ

この急激な減少は産制思想の普及によつて出生率が低下したと、さらに就職などが活潑になり人口が都市に集中移動したことの二つの原因が上げられ、この傾向は今後ま

すまず強まるものと予想されている。

ともあれこれまで「一万村民」と総称してきたが、これからは「九千村民」と訂正して呼ばなければならぬ

たわけ、今回の調査結果による男、女別数と前回との比較は次のとおりである。

▽男四、四二九人(三六〇減)  
▽女四、六五二人(三〇七減)  
▽計九、〇八一人(六六七減)



であるから一アール当り三万七、五七〇円になる。この平均

価格は昨年と比較して約七、〇〇円増加している。

葉たばこ耕作はこれまで農家の副業としてもつとも有利なものとして、四、五年前までは三百人からの耕作者があつて総収入は一、三〇〇万円以上も上げ、いわゆる「たばこ景気」をほこつていたが、ここにも近年のほげしい産業構造のうつりを反映してか耕作規模は現在のところ三分の一にまで減少している。

**来年は品種と価格の面で有利になる見とおし**

このことについて組合長の工藤好徳氏に話しを聞いてみると、葉たばこ耕作が年々衰えてきた大きな原因として①農家の労力が少なくなつてきている②現在耕作しているパーレー種(正式には水戸三号)は在来種より労力がはぶける反面、価格が安くなつて収入高が少なくなつた、の二つが上げられる。

### 労務内容を知つて就職対策の指針に

#### 村長・中学校長ら上京して視察

去る十一月二十七日から一週間村長、助役、佐藤副議長、下郷玉米両中学校の校長と職業係が上京して、主として本村出身の人々が経営している会社、工場などを中心に視察を行った。

これはかねて村出身の東京在住者により結成された村人会の要望もあり、とかくこれまでの就職あつせんは受入れ側の体制に比較して送り出すほうの腰の入れ方が甘かつた点などを考え、問題となる離職者などをなくする

耕作者が少なくなつてきていることは全国的に共通した問題で専売局でもこれを重視し、この問題を打開するためいろいろ対策を進めているようだと、とりあえず来年からは病害に弱い水戸三号にかわり耐病性のあるパーレー二号を普及させて耕作の安全性をたかめ、さらに買上げ等級も現行の優等から六等までを四等までとする。

## お正月は

簡素に・新生活

でとして格差をちぢめそれだけ価格が上廻つて有利になるような見とおしがもたれている。

今後ますます耕作者が減少すると本村の収納所廃止という最悪の事態も予想されるし、何よりこれまでの技術と経験をねむらせてしまうことは惜しいので、農家でも一ばん問題となる労力配分などよく研究してこれを取り入れ、できるだけ収入の途をふやすようにしていただきたいと語つていた。

### 【写真は葉たばこの収納風景】

### 公用文書の左横書き

1月1日から実施

秋田県では来る三十六年一月一日から公用文書(条例など特殊なものを除く)を左横書きとすることに、本村も歩調を合せてこれを実施することになった。

これは社会の進展にともない文書の形式を改善して事務能率を向上させるのが目的であり、過度の現象として一時の混乱や能率低下も考えられるが村民や村内各機関でもこの一時の不便や不なれをしのび協力されるよう望まれている。

### 母子福祉協力委員に二氏

母子福祉協力委員として中西トシ(館合)畑山愛子(大琴)の二氏が厚生大臣より委嘱された

### 職業安定協力委員に二氏

職業安定協力委員として青木芳雄(田代)佐藤観次郎(蔵)の二氏が労働大臣より委嘱された

### 教職員移動

下郷中学校教諭阿部重一氏は子吉中学校に転任、かわつて佐藤康典氏に講師が發令された。

### 農地転用には許可を

農地を潰して家を建てたり道をつくつたりする場合は届出して県知事の許可を受けないと処罰されます。

【農業委員会】

産米売渡し

六万俵のカベに破る

本年産米の売渡しは十一月末日現在で予約量をはるかに上廻るところの六万俵のカベをみごと突破して六万一、一三〇俵が出

産米売渡状況 【11月30日現在】

(農協)	(売渡)	(%)
玉老中下	26,540	108.0
米方央郷	11,001	105.5
	13,752	106.5
	9,837	104.0
合計	61,130	106.6

等級別歩合

(等級)	(俵数)	(%)
①	829	1.4
②	34,017	55.6
③	24,947	40.8
④	953	1.6
⑤	384	0.6
合計	61,130	100.0

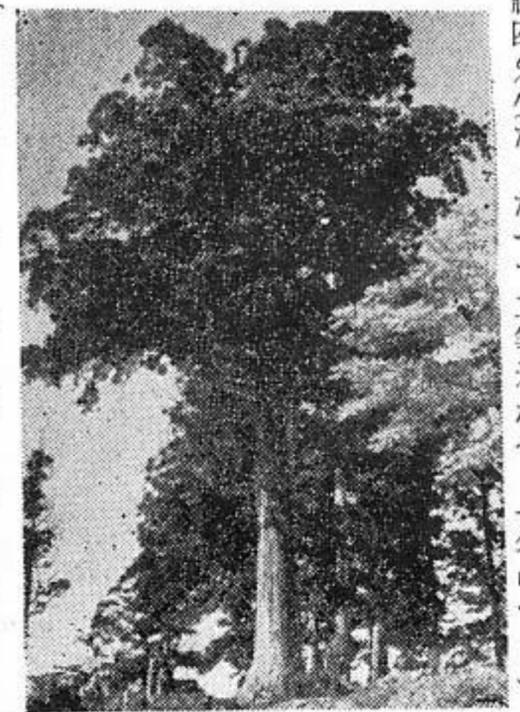
荷され新しく記録を書きかえた各農業倉庫はいずれも規定収容数以上がつめこまれて満倉となり、管理整備に嬉しい悲鳴を上げている状態である。この十二月一日以降は代表者制度によつて売渡しもできるので予約完了農家は余力米を全部政府に売渡し今年度の豊作を機会にさらに健全な農家経済へ前進



祝沢分校にこのほど一足はやいお年玉ともいふべきテレビが入り子どもたちに喜ばれている。このテレビは部落二十五世帯のきよ金と一部村補助によつて購入されたもので、学習の生きた教材として活用され山の子たちの社会的視野もぐんと

一足はやいお年玉 祝沢分校にテレビ入る

祝沢分校にこのほど一足はやいお年玉ともいふべきテレビが入り子どもたちに喜ばれている。このテレビは部落二十五世帯のきよ金と一部村補助によつて購入されたもので、学習の生きた教材として活用され山の子たちの社会的視野もぐんと



消えた銘木

お寺の大杉といつてなまされてきた老方泉秀寺境内の杉の大木がこのほど東京の銘木屋に引きとられ伐採された。この大杉は幹囲六メートル、樹高三十メートル、樹令は八百年以上と推定されているもので、これで本村の名物がまた一つ消えたわけ。【写真は伐採前のお寺の大杉】

する足がためにしたいものである。なお本年売渡された米の等級別割合は昨年と比較して三等米が約四%少なくなつて二等米がそ

れだけ多くなつていゝことも特徴の一つである。年賀状の差出しを早く一年中でもつともいそがしい年賀状の取扱いをこの十五日から行います。局では大切な郵便物がまちがひなく配達されるよう努力しますが、みなさんも次のことを実行して協力下さい

- ① 年賀状は元旦に届くよう二十日まで全部さし出して下さい。
- ② 年賀状は必ず東ねて「年賀郵便」と書いた紙片をそえヒモで結んで下さい。
- ③ あて名はくわしく、とくに子どもや同居者あてのものは必ず「〇〇方」と世帯主の名前を肩書きして下さい。
- ④ 小包は包装に念を入れ、これも二十日までさし出しを終えて下さい。【老方郵便局】

この冬のバス運行まず大丈夫

由利土木事務所では今冬の玉米、本荘間バス運行の確保に全力を上げて協力してくれることになった村長が過日、土木事務所長らと話しあい要請した結果、除雪機械の優先配属と危険な高瀬川橋工事個所には除雪人夫を常置し、また必要があれば砂利補修して路面維持をはかるなど全面的に協力を約してくれたので、気づかれていたこの冬期間の足の確保は、まず大丈夫という見とおしがたつた。

森林区施業計画案の従覧

昭和三十六年四月から五カ年にわたつて実施する本村の森林区施業計画案がまとまつたので役場に備えつけ、森林組合や森林所有者、その他利害関係を有する人たちに従覧させている。なおこの計画案について意見のあるものは今月の二十三日までに意見書を提出することにな

保険料免除届を至急

まず法定免除の受付から

十月一日から受付が始まつた国民年金の被保険者のなかで、生活に恵まれない人々のために保険料免除のとりあつかいがされている。保険料免除には法定免除(①)現在国民年金の障害福祉年金または母子福祉年金の受給権者(②)生活保護法による生活扶助を受けている者がこれに該当する)と、申請免除(年間所得が十三万円以下の家庭と五万五千円以下の単身者はこれに該当する。十三万円以上十六万円未満の家庭と五万五

千円以上六万五千円未満の単身者は事情によつて免除される)の二つがあり、本村では被保険者全体の約三分の一がこのいずれかの免除を受けるものと予想されている。これらの保険料免除届の受付は法定免除から行われるので、該当者は印かんを持つて至急届け出られるよう係では望んでいゝ。申請免除はこの法定免除の処理後、一月十日頃から行われ見とおしである。(法定および申請免除のあらまは九月三十日付村広報を参照のこと)

耕作に支障をきたす隣の松の木

【問】 私は甲の屋敷の隣の水田を耕作しています。甲は私の耕作する水田の近くに松の木を植えました。年がたつにつれて枝葉が茂り、私の田の耕作の障害になるばかりでなく、肥料を吸いとります。このように、收穫にもひじょうに影響するようになったので根や枝を切り取つてくれるように申入れたのですが、言を左右にして応じてく

れません。どうしたらいいでしょうか。

【答】 隣の土地にある竹木の枝が境界線を越えてきた場合には、その竹木の所有者に対して

農地相談室

枝を切りとるように要求できます(民法二三三条一項) また隣の土地にある竹木の根が境界線を越えて侵入してきた場合には、これを自分で切りとることができません(同条二項)

民法には、このように枝や根については規定がありますが、竹木の落す蔭などの問題については具体的な規定はありません。もつともいくら自分の所有地だからといって、むやみに大きな木を植えて、隣の農耕に重大な損失を与える事は「権利の濫用」(民法一条三項)として許されないことです。以上のことを頭において枝や根を切りとるように甲に交渉してみる必要があります。どうしても甲が応じなければ裁判所に農事調停を申立てるのもよいと思います。

蔵小と下中に備品贈る

お役に立てばと郷土出身の高橋氏



高橋重雄氏 東京・羽田プレス社長(本村蔵出身)

この馬は一八頭で総売上高五八万五二〇〇円、平均三万二、五〇〇円、うちめすの平均三万二、一〇〇円、おす三二、九〇〇円で

あつた。牛は九月市場の平均価格より若干下つているが反面、馬の価格がのびをみせたこと、全国的な肉畜不足とあつて二足三文といわれた和牛のおすも次第にめすとの価格の差がちよまつてきたことが注目された。

雇用促進の感謝状 雇用促進旬間にちなんで十二月十日、本村は職業安定機関と協力して雇用対策を積極的に進めよい成績を上げているとして県知事から感謝状がおくられた。 役場の年末年始休み 年末年始のため役場は十二月二十九日から一月三日まで休みになります。 二十八日は大掃除がありますのでご用は二十七日までにすませるようして下さい。 流感で休校あい次ぐ おもい症状の流感がはやり、このところ小、中学校の休校があい次いでいる。 十二月月上旬宿小學校をはじめに下郷中、蔵小、老方小、玉米小とすでに五校が臨時休校の処置をとり、いずれも児童生徒の五〇%以上、多いところでは六五%までこれにかまつている。

蔵小学校には校内放送器具、テレビ、管理戸棚、下郷中学校にはテーブコーダー、マグナフアックス、体操用マット二式がそれぞれ寄贈されたもので、郷土の子弟教育に万分でもお役に立てれば、というご芳志である。

組織づくりと生活を語りあう 青年集会

村連合青年会と教職員青年部共催の第三回青年集会是十一月二十六、七の一泊二日間、蔵小学校で開催された。内容は出稼ぎ青年を多く送り出しているその背景と会活動、また農村青年の結婚をとりまく諸問題を討議する部会研究、青年の政治活動のあり方、進め方を青年教師とじっくりひざつきあわせての話しあい、今回の総選挙の問題点などを縦横にめぐりだした木村与之助氏(本莊市)の時事講話、前



青年会長や学識経験者の出席をもとめて曲り角にきたといわれる青年会活動に外側からメスを入れて解明し、今後の方向づけを浮ぼりさせた公開座談会などがもたれた。

【写真(上)】時事講話の木村与之助氏、こゝでは講師も青年とよみにひざを折つている 新しい農業経営とつ組む 婦人講習会 世界的な経済状況の深刻な影響をうけて大きく変ろうとしているこれからの農業経営はお母さんたちにとつても勉強が大切と、十二月四日連合婦人会では河野喜代国氏(県新生活協議会講師)を招き、婦人講習会でこれを取り上げた河野氏は日本農業の沿革、世界と比較した日本の生活水準と食生活の現状、あわせて農業生産をたかめている各地の豊富な実例などをじっくり話しされた 質疑応答のときには男性顔まけの酪農問題のつつこんだ質問があつたりして熱心に話しあわれ、農村に生きる婦人の強い生活意欲がにじみ出ていた。 【写真(下)】婦人にこれからの農業経営の問題を講義する河野氏

のびをみせた馬の価格 11月家畜市場成績

十一月定期家畜市場は十七日、台山海馬検場で開設され牛馬あわせて九四頭が出場し、さながら市場デーの観をみせてにぎわつた。

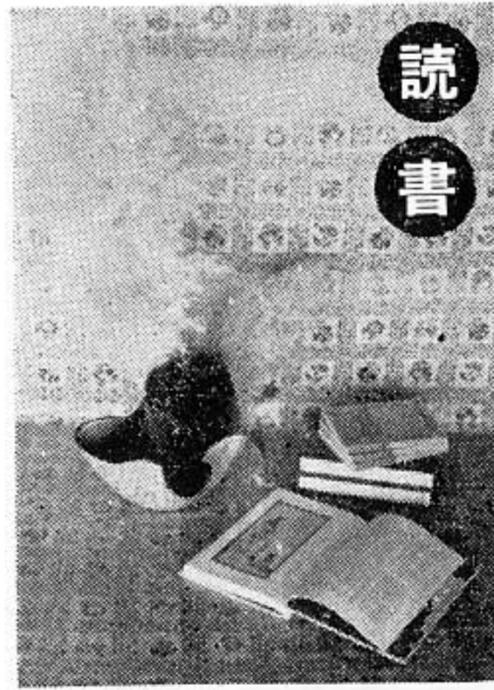
成績は牛七六頭(めす二九、おす四七)で総売上高二二〇万九、一〇〇

円、平均二万九、〇〇〇円、このうちめすの平均は三万二、七〇〇円、おす二万六、八〇〇円



今回はこれまでの総花的、お祭的な集会の色彩をあらためて問題を身のまわりに求め、終止明日の組織づくりと素ほくな青年の生活を語りあつて二日間を過ごした。

ひろば



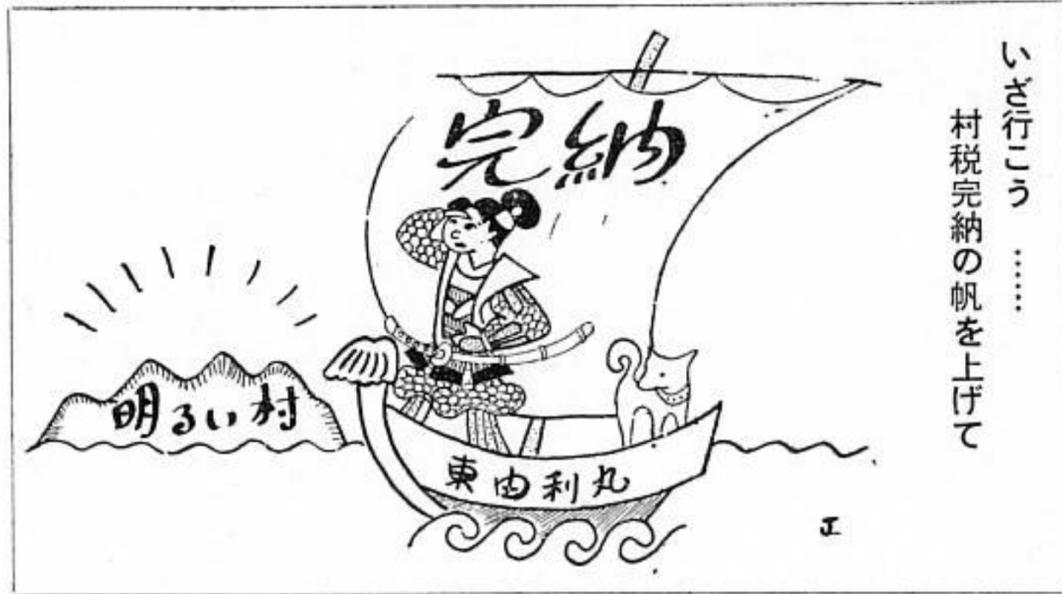
読書

公民館では次の図書を購入、貸出しております。これからは大きな仕事から解放されて読書には最適です。グループで、家庭でどしどしご利用下さい。

- アデベンちやん (小島 静子)
姿三四郎 (富田 常雄)
西遊記1.2.3 (邱 永 漢)
夜と霧の隅で (北 杜 夫)
らくがき帳 (渋谷 秀雄)
ある女 (石坂洋次郎)
蒼き狼 (井上 靖)
凶々しい奴 (柴田錬三郎)
私の歩んだ道 (鈴木茂三郎)
秋日和 (里見 弴)
花の講造 (白川 握)
パルタイ (倉橋由美子)
新女大学 (有吉佐和子)
悪童女 (森本ヤス子)
ぼんこつ (阿川 弘之)
銭形平次捕物控 (野村 胡堂)
武将列伝(白) (海音寺潮五郎)
母そはの母 (室生 朝子)

- 吾ぐるうた (室生 犀星)
河 口 (井上 靖)
天 拘 往 来 (富田 常雄)
わが愛と命の記録 (石坂洋次郎)
東条英機と太平洋戦争 (佐藤 賢了)
妻の経験 (石坂洋次郎)
ちやん (山本周五郎)
子どもの見た100の人々 (大浦 猛)
15才の異常者 (藤森 安治)
井伏鱒二集 (新潮社)
青春の宿 (源氏 鶏太)
親 鸞 (吉川 英治)
帝国海軍 (朝長 落共編) (写真集) (横井忠俊)
人生の道標 (「人生手帳」編集部)
恋愛家族 (火野 葦平)
遺 臣 伝 (子母沢 寛)
随筆釣自慢 (雑魚クラブ)
天皇裕仁 (小泉 譲)
流転(後編) (石浜 恒夫)
くらま天狗 (大仏 次郎)
日々平安 (山本周五郎)
若き日の摂津守 ( " )
火野葦平集 (新潮社)
ノンちゃん雲に乗る (石井 桃子)

- 眠れないの眠らないの (西村みゆき)
いのちかなし (壺井 栄)
落語名作全集 (吉川 義雄) 1, 2 (安藤 鶴夫)
石坂洋次郎全集 (新潮社)
人生短期大学 (高橋 義孝)
心 形 刀 (柴田錬三郎)
自由な囚人 (望月 一広)
日本の寓話(上下) (一瀬直行)
非情物語 (川口松太郎)
山岡荘八・大林清集 (講談社)
天保浮世硯 (山手樹一郎)
凱 施 門 (レマルク)
千一夜物語 (岩波 文庫)
赤 と 黒 (スタンダール)
風と共に去りぬIII (ミツチエル)
らく駝のシャンツ他 (老 舍)
大地I、II (パール・バック)
レベツカ (デュ・モーリア)
じかに見たアメリカ (A・アジュベイ)
世界短編名作集 (平凡社)
世界名詩集 (三好達治編)
パリの王様 (ガイ・エンドア)
インテリと農村 (松丸志摩三)
農民の暮しと考え ( " )



いざ行こう... 村税完納の帆を上げて

これは原始時代から今日まで日本の国ならでは他に見られぬ古典的な大行事といえましょう。また小正月にはミズ木を立飾るのでありますが、この木は全体が鍵形になっており、すなわち鍵をもつて鍵から鍵へと限りなく継続されることから、わが子

正月談義

高橋 徳太郎

煤払いをすませて一年間の家の中の疫害ともいうべきものをすつかり払い清め、こうして新しく迎える年はずがすがしい明るい希望に満たされます。そして少しもけがれない場所に天神地祇をお祭りしてこの明るい希望がいかなる災害にも打砕かれることがないようにと、色かわりなき清新な門松を立てるのであ

- 農村生活の探究 (山口弥一郎)
私は赤ちやん (松田 道雄)
趣味の相談 (読売新聞社)
日曜大工 (高山正喜久)
日曜花作り (穂坂 八郎)
日曜俳画 (内山 雨海)
折紙教室 (横川 洋)
毎日のお菜 (辻 勲)
楽しいおやつと夜食 ( " )
毎日のお弁当 ( " )
子供の合唱 (林 文夫)
これからの自給肥料 (塩島角次郎) (浪江 虔)
農業簿記帳の手びき (桑原 正信)
図解わら工技術 (佐藤庄五郎)
実用工芸作物ハンドブック (西村周一編)
新農業必携 (全国高等学校農場協会)

- 寒冷地稲作技術の組立 (松村敏)
稲作増収の基礎知識 (馬場 赴)
農業経済入門 (吉田寛一馬場昭) (安孫子麟)
これで防げる野菜の病気 (滝元清共編) (浪江 虔)
果樹つくり十二ヵ月 (川上忠夫)
これで防げる野菜の害虫 (三島良三郎)
野菜つくり技術と経営夏秋 (松原茂樹) (西村周一)
日本一の稲つくり (城下 強)
農家で出来る四季の農産加工 (山崎 茂)
肥料の上手な使い方 (岡本春夫)
除草剤の使用法 (荒井 正雄)
これからの酪農 (三田 雅彦)
酪農便覧 ( " )
農薬便覧 (香川繁孝他)
酪農経営の新知识 (松丸志摩三)
酪農業の改善と機械化 (鈴木 健二)